

2018
11
月

北房通信



平成30年11月1日発行 北房振興局 TEL0866-52-2111

北房振興局からのお知らせや管内のできごとなどを不定期で発信します。

外国人がお神輿担ぎを体験 ～北房農泊モニターツアー～



晴天のもとお神輿を担いで笑顔の参加者ら

10月27～28日、外国人に北房の田舎体験をしてもらうモニターツアーが行われました。北房農泊推進協議会の主催で、今回のメインプログラムはお神輿担ぎ。アメリカやネパール、台湾などの5カ国10人が参加。郡神社のお祭りにお邪魔しました。前日の27日には酒蔵など

を訪ね歩き、お祭りで供えるお酒や水を自分たちで準備。夜は中津井の旧菅野邸で囲炉裏を囲んで交流し、おいしい料理とお酒で英気を養って翌日に備えました。

本番の28日、参加者は白装束を身にまとして郡神社のお祭りに参加。お供えをした後、良すぎる天気と氏子の皆さんの好意に恵まれ、楽しいお神輿道中がスタートしました。最初は笑顔で担いでいた皆さんも、予想以上の重さと距離で表情が険しくなる様子も。それでも道中のお接待と地元の方の声に励まされながら、何とか予定の時間まで担ぐことができました。

ツアー最後のミーティングでは、

「地域の人の方が優しかった」

「食べ物がおいしかった」

「最後まで参加したかった」

といった感想が出るなど、とても満足していた様子でした。

協議会では、ツアーの商品化に向けて今年度あと2回のモニターツアーを予定しており、次回は12月に実施。お寺での体験や大師堂をめぐるウォーキングなどを計画しています。



▲ばら寿司などを堪能した前夜の夕食



▲女性モニターは太鼓で祭りに参加



▲地域の人たちとふれあう参加者



▲長い神輿巡行の途中の様子

北房ホテル保存会が受賞しました ～ユネスコESD活動顕彰～

9月29日、日本ユネスコ協会連盟が主催する2018年度中国ブロック・ユネスコ活動研究会において、北房ホテル保存会がユネスコESD活動顕彰を受賞しました。ESD活動に取り組んでいる団体や個人を顕彰するもので、表彰は2014年から始まり今回で5回目となります。

(ESD=持続可能な開発のための教育)

保存会は、ホテルの激減に歯止めをかけようと昭和45年に結成され、以来、長年にわたってホテルの研究や啓発といった保存活動を継続。

子どもたちが郷土の自然や生き物に親しむ環境づくりを行ってきたことが評価されました。



表彰団体の集合写真。左端が保存会の南條保之会長

もみじ公園の魅力、人気上昇中 ～県外からも利用が増えています～

北房振興局では、北房アウトドアベース実行委員会と協力し、北房もみじ公園の有効活用による地域振興事業に取り組んでいます。

同実行委員会では、公園内の紅葉広場を使って北房への来客増でにぎわいを創出する「お試しキャンプ事業」を実施中。インターネットを通じて利用の呼びかけをしていますが、9月、10月の行楽シーズンの週末には10組以上の利用客でにぎわっています。中でも関西方面からの利用客が多く、アクセスの良さや静かな環境、眺望などが高評価。実行委員会では利用客に北

房や真庭の観光パンフレットを配って宣伝するなど、地元や周辺への波及効果も図っているところ。新たな人の流れが生まれています。



週末には家族連れやツーリング客などの姿が。楽しみ方はそれぞれの様です

空き家を売りたい！貸したい！ という人は「空き家情報バンク」に登録を

真庭市では、地域に眠る空き家を有効に活用し、「真庭に移住したい」という人へ住まいの情報を提供する『空き家情報バンク制度』を設けています。使っていない家を売りたい、または貸したいという方は、ぜひ「真庭市空き家情報バンク」に登録してください。

～登録から公開までの流れ～

①申請書を提出

「真庭市空き家情報バンク登録申請書」を真庭市に提出
※申請書は北房振興局にあります。(市HPにも掲載)

②マッチング

真庭市交流定住センターが不動産業者に情報を提供してマッチング
※物件の下見会を実施して取扱業者を決定。
※物件の状態によっては決定しない場合もあります。

③情報を公開

ホームページ上に空き家情報を公開

▶空き家情報を見て買いたい、借りたいという人が現れれば、不動産業者を介して取り引きに入ります。



お問い合わせは
真庭市交流定住センター TEL0867-44-1031
もしくは
北房振興局地域振興課 TEL0866-52-2111